請願第１号

件　　名　　下水道使用料値上げの中止に関する請願書

請　願　者　　[redacted]
[redacted]外2,747名

紹 介 議 員　　羽曳野市議会議員　　笹　井　喜世子　　渡　辺　真　千

【請願趣旨】

羽曳野市は、令和５年４月から下水道使用料を 25%も値上げしようとしています。昨年来、年金削減、実質賃金の低下で世帯の収入が増えない一方で、例をみない食糧品の高騰、電気、ガスなど公共料金の大幅な値上げが市民の家計を直撃しています。こんな時に、下水道使用料の値上げを実施することは、苦境に立つ市民のくらしに追い打ちをかけるものであり、住民福祉の向上を旨とする地方自治体の役割に逆行するものといわざるを得ません。

下水道使用料値上げの理由として羽曳野市は「独立採算制と受益者負担の原則に沿った使用料水準の適正化」で「下水道事業の経営健全化を図るため」とし、一般会計からの繰り入れ（年間５億円）を無くすことが目的だと説明しています。しかし、そもそも一般会計からの繰り入れは水洗化率 87.5%（令和２年度末）の市民生活を直接支えている貴重な財源です。使用料だけで下水道事業を賄おうとすれば 50%の値上げが必要だと羽曳野市は説明しています。これでは今後も使用料の値上げが繰り返され市民負担は際限なく増大することが懸念されます。

さらに、今回の値上げは、2022 年２月 24 日の議会提案で初めて市民に明らかになり、３月 30 日の本会議までわずか１ヶ月あまりの短期間の審議で決定されました。これでは、市民の理解と納得が十分得られたとはいえません。

以上のように、物価高騰のもとでの市民生活に及ぼす影響の大きさ、際限なく市民負担が増大しかねない値上げの理由、市民の理解と納得が十分得られない短期間の決定経過の３点をふまえ、下水道使用料の値上げの中止を請願します。

【請願項目】

１．下水道使用料の値上げを中止してください。

令和５年２月 20 日

羽曳野市議会
議　長　　金　銅　宏　親　　殿